

令和3年度 町政執行方針



3月10日から開催された第1回町議会定例会において、岩村町長が、令和3年度の町政執行方針と予算編成概要を述べましたので、お知らせします。

令和3年第1回町議会定例会の開会にあたり、私の町政執行に対する基本的な姿勢と考え方、ならびに令和3年度予算概要について申し上げます。

早いもので、私が町長に就任してから2期目の最終年となりました。町政を預かって以来、地域の振興発展、とりわけ基幹産業の振興が何よりも重要であるとの考えから、後継者の育成と持続可能なまちづくりを目指し、精力的に町政を推進してまいりました。その結果、基幹産業であります酪農を守る「株式会社青年舎」と、商工業の振興、育成を図る「株式会社 木蓮」の二つの法人を設立することができました。これらの法人は、稼げる仕組みを構築しながら、後継者を育成することができるよう努めてまいります。

町の酪農を守り育て、持続可能なまちづくりに大きく貢献するよう進めてまいります。低迷する水産業の振興対策として、令和元年度から開始した北海道初のサーモン海面養殖試験事業は、1年目の試験結果としては、生残率、成長率共に大変良好な結果となりました。2年目の養殖試験は、収容尾数を増やして養殖を開始しており、事業化に向けて養殖技術の確立を図るとともに、「北海道二海サーモン」を八雲ブランドとして育て上げるため、知名度向上と販路拡大に向けて取り組んでまいります。

昨年1月に日本国内で新型コロナウイルス感染症が確認されたから1年が経過しましたが、世界で猛威を振るい、日本国内でも感染が拡大して深刻な状況にあります。今年に入り都市部を中心に感染が拡大したことから、国民の命と健康を守るため、国は1月に緊急事態宣言を11都府県に発令して拡大防止に努めています。

感染拡大防止対策の決め手となるワクチン接種について、国からの要請に基づき、4月下旬以降から高齢者より順次接種する予定となっております。町内医療機関と連携して、万全な接種体制を確保して取り組んでまいります。上八雲地区に建設が進められている「研修牧場」は、八雲町の酪農発展の要となる役割を担う施設として、いよいよ4月から乳牛を収容しての営農がスタートします。八雲

ふるさと応援寄附金奨励事業は、令和元年度から返礼品割合を3割に堅持しながらも、24億5千万円の寄附金が集まりましたが、令和2年度は人氣の海産物の高騰により約20億円の見込みとなつております。魅力ある返礼品の開発はもとより、引き続き全国に向けてPRに努めてまいります。

新幹線新駅の開業を見据え、駅周辺はもとより町全体として一人でも多くの乗降客が増える魅力あるまちづくりが重要となっております。新たな

な産業や観光資源の創出、まちのブランド力向上を図るため、近年、急速に発展しているウイスキー市場に着目し、ウイスキー蒸留所の整備に向けての可能性を探る調査・検討に着手してまいります。

地域で安心して暮らしていくためには、医療の充実が何よりも重要であります。

八雲総合病院は、常勤内科医師の不足と新型コロナウイルス感染症が依然として収束していないこともあり、極めて厳しい経営状況が続いています。しかしながら、4月からは内科医師5名体制と耳鼻咽喉科医師1名の常勤化が図られる予定となっております。また、経営コンサルティング導入による効果も見込まれることから、引き続き経営健全化に向けて取り組んでまいります。

熊石国保病院は、コロナ禍ではありますが、医師2名体制により安定経営が維持されています。老朽化が著しく、医療環境の改善・充実を図るため、改築に向けて実施設計を進めるとともに、地域に信頼される地域密着型病院を目指して、地域医療の充実に努めてまいります。